

1年を通して定期的に活動しています。

今後も継続して活動していきますので引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



朗読・読み聞かせボランティア

アナウンサーの経験を活かして夫と二人で取り組んでいる「めおと朗読」も13年目。



防災訓練・消防団活動

区議としてまた消防団員として地域の安全・安心を守ります！



清掃活動

毎月第一日曜、第三日曜日には商店街・地域の清掃活動



若者支援

インターン生の受け入れや大学での講演、就活・ビジネスマナーの指導なども承ります



高齢者会食ボランティア

一人住まいの高齢者の方に温かい食事を作ります

こんな時、どこに言えばいいの

- カーブミラーが欲しい
- 段差があって危ない
- 私道の問題を解決したい
- 街路樹の葉が電線にかかり危険
- 通学路が安全でない 等々

お困りごとがありましたらお寄せください
スピーディーに行政につなげます

✉ info@naomi-ishikawa.com

編集後記 今回のナオミチャンネルは具体的な要望を特集しました。が、もう一つ。区内の小中学校90校のうち半数以上の学校が築50年以上を経過するなど、学校施設の老朽化は待たなしの深刻な課題です。また、あわせて体育館の空調設備(エアコン)は全校に設置が出来たものの、今度は効きが悪いという問題が



発生しており、遮熱対策としてカーテンなどを導入した学校もありますがそれでも不十分であるという声もあります。体育館は、部活動で使用したり、避難所など様々な役割があります。気候変動による酷暑の夏は熱中症という命の危険に晒される状況にもなります。引き続き改善を求めていきます。

石川ナオミ プロフィール

アナウンサー・元NHKキャスター、社員研修・大学講師、キャリアコンサルタント、株式会社コミュ設立(人材育成会社)代表取締役。2015年世田谷区議会議員選挙に初当選。現在、3期目。自民党世田谷区議団初的女性幹事長。常に「人の喜びが我が喜び」をモットーとして、地道に謙虚に取り組む。

- 学歴 / 明治大学公共政策大学院修士課程修了(令和4年)
- 所属団体 / 成城消防団第3分団 その他団体の顧問等を担当
- 資格 / 国家資格キャリアコンサルタント、プロティアンキャリア認定ファシリテーター、NLPトレーナー、中学・高校教員免許、教育カウンセラー等
- 家族 / 夫(元NHKアナウンサー) 娘二人の4人家族 愛犬2頭
- 趣味 / ケーキ作り、自分磨き
- ライフワーク / 夫婦で朗読会を開催
- 著書 / 「ただ今、奮闘中」(文芸社) 女性の活躍を推進するエッセー
- モットー / 利他の精神



石川ナオミ事務所

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山 3-23-26
TEL & FAX : 03-5942-1285
Eメール : info@naomi-ishikawa.com

石川ナオミ

検索



ホームページ : www.naomi-ishikawa.com

世田谷区民のアナウンサー！

地域のかかりつけ議員

世田谷区議会議員

石川ナオミ

《ナオミチャンネル》

「凡事徹底」

昨年は、能登半島地震、豪雨など、胸を痛める甚大な被害が発生した1年でした。いまだ渦中にあり、不自由な生活を送られている方々もいらっしゃることを決して忘れず、今年も引き続きの復興支援、また区民の安心安全を守る災害対策にもさらに強化していきたいと思っております。

さて、私は自民党世田谷区議団幹事長として務めさせていただき2年、議員になって今年で11年目。経験を重ねてきた今だからこそ謙虚に驕らず初心にかえり、今年は特に「凡事徹底」を意識していきたいと思っております。当たり前のことを当たり前にする、いわゆる特別なことではなく、ごく平凡なことを徹底してやり抜くという意味です。

何事も一時的・一過性の取り組みなら誰でも実践できますが、それをやり続けるということになると、覚悟と努力も必要です。元野球選手のイチロー選手の名言にも「小さいことを重ねることが、とんでもない所に行くただひとつの道だ」とあります。どんな小さなことでも決めたことをやり続けること、それが成果にも繋がっていくのですね。

今年も、皆様のご意見・ご要望に誠心誠意取り組んでまいります。引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



石川ナオミ 区政報告

2025年 新春号 第019号

石川ナオミ



世 田谷区議会では来年度の予算編成に対して、これから第1回定例会（令和7年2月中旬）予算特別委員会（3月開催）と続きます。

ご高齢者、障がいのある方、女性や若者、子育て世帯、単身者などあらゆる立場に関わらず、全ての人が多様な生き方を尊重できる社会にしていけるために具体的な政策を進めて参ります。

今回の「ナオミチャンネル」は、我が会派として、また私自身も区に求めている要望（中でも身近な要望）の一部ですがご紹介します。



災害対策・防災力の向上

東京都では、約900万人の都民がマンション等の共同住宅に住んでいます。（世田谷区内でも約50万世帯のうち半数近くがマンションにお住まいです）耐震基準を満たしたマンション等は、被害が軽微であれば在宅避難が可能となります。在宅避難を継続するためには、各家庭とマンション全体での備えが必要です。マンションの防災力を向上する防災共助促進事業を進めるよう要望しています。また、世田谷区内には、広域防災倉庫16カ所、避難所運営防災倉庫96カ所が設置されていますが、防災倉庫が狭く備蓄品が入りきらないなどの声もあります。そこで、防災倉庫の拡充も求めています。

物価高騰に対する支援

区が集計をしたアンケートによると（円グラフ参照）「物価高騰による家計負担について、とても実感しているもしくは、やや実感している」と答えた回答は全体の約94%を占める結果となっており、物価高騰への支援策は必至。非課税世帯への支援や区内事業者への支援はもちろんのこと、区民の生活の支援としてデジタル地域通貨「せたがやPay」でのポイント還元キャンペーンなどを実施し、消費を喚起して商店街支援にもつなげるよう要望しています。



犯罪抑止への取り組み強化

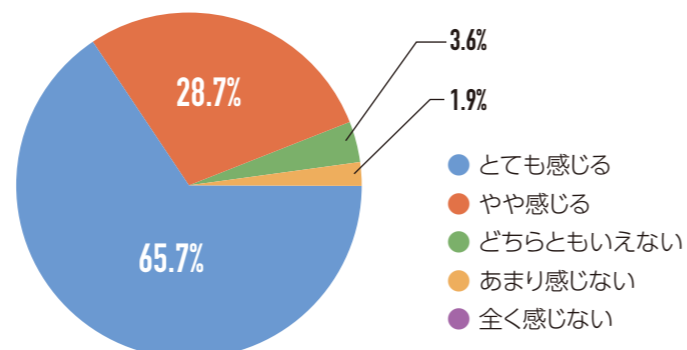
悪徳な事業者からの不必要なリフォームの勧誘や訪問販売に関する被害が増加しています。特に、認知症のご高齢者の場合、悪質な勧誘などに遭っても良し悪しの判断がつかず、誘導されるままお金を支払ってしまうことも多いようです。こうした犯罪への抑止、また、子ども達の通学路の安全を守ることもつながる対策として、これまで以上（設置台数を倍にするよう）防犯カメラの設置助成等を求めています。



前年同時期と比較した

光熱水費や食料品等の値上がりによる

家計負担の実感



幼児教育への支援

少子化の影響が徐々に出てきている世田谷の保育事情。私立幼稚園において園児の定員が満たず経営難から閉園に追い込まれている園もあります。現在、認可保育園は無償化されていますが、私立幼稚園では月額31,000円を超える保育料は自己負担になっており、私立幼稚園を諦めているご家庭も少なくないと伺います。そこで、幼児の保護者への保育料負担の軽減を拡充すること、さらに、私立幼稚園が実施している、障がいのあるお子さんなど配慮を要するお子さんの受け入れに対しても特別支援教育事業の補助金の拡充を求めています。



若者支援事業の拡充

世田谷区は乳幼児期の子育て世代への支援については、数年前にくらべると前進しています。しかし、思春期の若者に対する支援はまだまだです。若い世代が悩みや思いを気軽に相談できる場の設置や、子ども・若者基金を活用し、若者が主体的となって仲間や地域住民と一緒に取り組む活動の支援を拡充するよう求めています。



みどり豊かで住みやすいまちをつくる



相続等による宅地の細分化や大規模な開発などによるみどりの減少を防ぎ、みどりの保全、創出に力を入れ、また浸水被害を軽減するためのグリーンインフラの考えも活かした雨水流出抑制施設の設置などを進めるように求めています。

高齢者や障がいのある方など、すべての人に優しい街づくり

誰もが便利で心地よく、安全で安心して快適に住み続けられる地域社会の実現に向け、例えば、ご高齢者の外出促進に向け、交流の場の創出にも寄与するベンチ等を町中に設置するよう求めています。また、地区における区民の活動拠点となる地区会館には、エレベーターが必要な施設41カ所のうち、25カ所が整備されていない状況です。ユニバーサルデザインの観点からも、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」するためにエレベーターの設置等を求めています。



駅周辺の街づくりの推進

千歳烏山駅周辺地区の街づくりとして、『ちとからまちづくりフォーラム』の運営や駅前広場南側地区市街地再開発の取り組みなど準備組合の活動支援を要望しています。



まだまだ要望しているものはありますが、要望して終わりではなく「実現をさせる」ことが使命です。今年も、粘り強く、果敢に取り組んで参ります!!
なお、2月20日（木）第1回定例会の自民党代表質問で登壇します。
よろしければ、区議会ホームページでもチェックして下さいね♪



www.city.setagaya.lg.jp

